

平成31年 1月16日

武雄市長 小松 政 様

武雄市立武雄市民病院移譲先病院評価委員会
委員長 信 友 浩 一

平成29年事業年度の業務実績に関する評価結果

1 評価の方法

武雄市立武雄市民病院移譲先病院評価委員会において新武雄病院の運営状況について評価を行った。評価は、当該法人より提出された平成29年事業年度に係る業務実績報告書をもとに評価の基本方針（平成23年1月24日策定）及び年度評価実施要領（平成23年1月24日策定）により行っている。

評価については、各年度実施する年度評価と目標期間を3年とする中期目標期間評価に大別し、今回は8年次の年度評価を小項目評価、大項目評価及び全体評価で行った。評価手法の概略は次のとおり。

- ・小項目評価 法人による5段階の自己評価と法人からのヒヤリング等を通じて、各委員により評価。
- ・大項目評価 各委員の評価を独立した評価として取り扱い、評点に応じて5段階で評価。
- ・全体評価 中期計画の進行状況全体について総合的に評価。

2 小項目評価

小項目評価の結果を次に示す。各委員において評価にばらつきがあったが、個々の委員の評価を尊重するためそれぞれ独立した評価とした。また、会議の内容及び評価点数を補足するものとして、評価コメント等を参考として追記した。

※判定基準

- 5 年度計画を大幅に上回って実施している。
- 4 年度計画を上回って実施している。
- 3 年度計画を順調に実施している。
- 2 年度計画を十分に実施できていない。
- 1 年度計画を大幅に下回っている。

(1) 武雄市民病院事業譲渡契約の履行に関する事項

| 小項目 | 小項目細区分 | 法人 評価 | 委員の評価別人数 | | | | |
|---------------------|------------------|----------|----------|---|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 救急医療の確保 | 救急医療体制の 維持・充実 | 4 | | | | 4 | 1 |
| 〃 | 消防との連携強化 | 4 | | | 2 | 2 | 1 |
| 地域医療機関との連携 | | 4 | | | 1 | 4 | |
| 診療科目、病床数等 | | 4 | | | | 5 | |
| 保健医療行政への協力 | | 4 | | | | 5 | |
| 病院の運営に関する意見の聴 取等 | | 4 | | | | 4 | 1 |
| 地域住民の意見の聴取 | | 4 | | | | 5 | |
| 病院の継続運営 | | 5 | | | | 3 | 2 |

○救急医療の確保

(改善又は要望事項)

- ・地域の中核病院として、救急患者等の受け入れ拒否が発生しない体制の強化をお願いしたい。

○地域医療機関との連携

(評価できる点)

- ・地域医療機関との密な連携により、効果が見受けられる。
- (改善又は要望事項)
- ・今後は、流出患者に目を向けた医療連携体制の構築を目指していただきたい。

○診療科目、病床数等

(改善又は要望事項)

- ・増床が可能になったため、急性期中核病院として更なる充実を図られたい。

○保健医療行政への協力

(改善又は要望事項)

- ・検診業務等について、行政機関との密な連携をして事業の拡大を図っていただきたい。

○病院の運営に関する意見の聴取等

- ・特になし

○地域住民の意見の聴取

(評価できる点)

- ・健康教室の開催数や参加者数の増加について、評価したい。

(改善又は要望事項)

- ・地域住民の意見聴取は、非常に重要。更に継続して実施されたい。

○病院の継続運営

- ・特になし

(2) 医療サービスの質に関する事項

| 小項目 | 小項目細区分 | 法人評価 | 委員の評価別人数 | | | | |
|------------------------|------------------|------|----------|---|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 高度医療の充実 | 高度医療の充実 | 5 | | | | 4 | 1 |
| | 高度医療機器の計画的な更新・整備 | 4 | | | | 5 | |
| 医療スタッフの確保、専門性及び医療技術の向上 | 医療スタッフの確保 | 4 | | | | 4 | 1 |
| | 専門性及び医療技術の向上 | 4 | | | | 4 | 1 |
| より安心して信頼のできる質の高い医療の提供 | 医療安全対策の徹底 | 4 | | | | 5 | |
| | 患者中心の医療の実践 | 3 | | | 5 | | |
| | 科学的な根拠に基づく医療の推進 | 4 | | | 1 | 4 | |
| 法令行動規範の遵守 | | 4 | | | | 5 | |
| 研修研究会を通じた地域医療への貢献 | | 5 | | | | 3 | 2 |
| 診療待ち時間の改善等 | | 3 | | | 5 | | |
| 患者・来院者のアメニティの向上 | | 3 | | | 3 | 2 | |
| 患者の利便性向上 | | 3 | | | 3 | 2 | |
| 災害時における医療協力 | | 3 | | | 5 | | |
| 市民への保健医療情報の提供・発信 | | 3 | | | 5 | | |

○高度医療の充実

(改善又は要望事項)

- ・高度医療を必要とする患者数の把握をお願いしたい。

○医療スタッフの確保、専門性及び医療技術の向上

(評価できる点)

- ・人材不足は深刻であるが、人材確保の努力が窺える。

(改善又は要望事項)

- ・専門医（特に内科）の確保に注力していただきたい。

○より安心して信頼のできる質の高い医療の提供

(改善又は要望事項)

- ・インシデント・アクシデントレポートは、些細な案件であっても報告がなされるようお願いしたい。また、気配り等により件数が減少することが望まれる。
- ・患者の立場に立った医療の実施に一層努めていただきたい。

○法令行動規範の遵守（コンプライアンス）

- ・特になし

○研修研究会を通じた地域医療への貢献

- ・特になし

○診療待ち時間の改善等

(改善又は要望事項)

- ・診療待ち時間よりも、精算窓口の方が長い感じがする。

○患者・来院者のアメニティの向上

(評価できる点)

- ・1階受付まわりの案内はスムーズに行われているようである。

○患者の利便性向上

- ・特になし

○災害時における医療協力

- ・特になし

○市民への保健医療情報の提供・発言

(改善又は要望事項)

- ・病院探検隊、病院ボランティアの受入れを進められたい。

(3) その他

| 小項目 | 小項目細区分 | 法人 評価 | 委員の評価別人数 | | | | |
|----------------|-----------------|----------|----------|---|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 経営の効率化 | 法人としての運営管理体制の確立 | 4 | | | 1 | 4 | |
| | 業務執行体制の見直し | 4 | | | 1 | 4 | |
| | 職員の職務能力の向上 | 4 | | | | 4 | 1 |
| | 収入の確保と費用の節減 | 4 | | | 1 | 4 | |
| 当該医療圏での不足医療の把握 | | 3 | | | 4 | 1 | |
| 地域貢献 | | 4 | | | 4 | 1 | |

○経営の効率化

(改善又は要望事項)

- ・PDCA サイクルが常に発揮されるよう努めていただきたい。
- ・働き方改革の視点から、働きやすい、定着率の高い職場づくりを図っていただきたい。
- ・職員研修に関しては、できる限り回数を重ね、職員のスキルアップを図っていただきたい。

○当該医療圏での不足医療の把握

(評価できる点)

- ・ピカピカリンク（佐賀県診療情報地域連携システム）の導入を検討されており、医療体制構築の意欲が感じられる。

(改善又は要望事項)

- ・流出患者数の把握と原因分析をお願いしたい。

○地域貢献

(改善又は要望事項)

- ・在宅医療の需要調査をされたい。

3 大項目評価

大項目評価については、各委員の小項目の評価結果を集計し、その評価点数に応じて中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況について評価した結果、次表のとおりとなった。

【判定基準】

- 「特筆すべき進捗状況」 (評価委員会が特に認める場合)

中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。

- 「計画どおり」 (すべての項目が5～3)

中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる。

- 「おおむね計画どおり」 (5～3の割合が9割以上)

中期目標・中期計画の達成に向けておおむね計画どおり進んでいる。

- 「やや遅れている」 (5～3の割合が9割未満)

中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。

- 「重大な改善事項あり」 (評価委員会が特に認める場合)

中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある。

| 大項目 | 小項目評価数 | 各委員の小項目評価結果 | | | | | 大項目評価 |
|-------------------------------------|--------|-------------|---|---------------|---------------|--------------|-------|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 武雄市民病院事業譲渡契約の履行に関する事項 | 8 | 0 | 0 | 3 (7.5%) | 33 (82.5%) | 4 (10.0%) | 計画どおり |
| 医療サービスの質に関する事項 | 14 | 0 | 0 | 27 (38.5%) | 37 (52.9%) | 6 (8.6%) | 計画どおり |
| その他 (経営の効率化、当該医療圏での不足医療の把握、地域貢献) | 6 | 0 | 0 | 11 (36.7%) | 18 (60.0%) | 1 (3.3%) | 計画どおり |

(1) 武雄市民病院事業譲渡契約の履行に関する事項

昨年度に引き続き中期目標・中期計画の達成に向けて「計画どおり進んでいる」との評価となった。引き続き、地域の中核病院として、救急患者等の受け入れ拒否が発生しない体制の強化を図ること。

(2) 医療サービスの質に関する事項

昨年度に引き続き中期目標・中期計画の達成に向けて「計画どおり進んでいる」との評価となった。「医療スタッフの確保」の項では、専門医、特に内科医の採用及び育成をされたい。

(3) その他（経営の効率化、当該医療圏での不足医療の把握、地域貢献）

昨年度に引き続き中期目標・中期計画の達成に向けて「計画どおり進んでいる」との評価となった。「当該医療圏での不足医療の把握」の項については、ピカピカリンク（佐賀県診療情報地域連携システム）の導入を検討されており、医療体制構築の意欲が感じられる。

4 全体評価

昨年度と同じく、大項目については、それぞれ「計画どおり（評価4）」との評価とした。

ただし、救急患者等の受け入れ拒否については、引き続き、地域の中核病院として、受け入れ拒否が発生しない体制の強化を図られたい。

また、医療スタッフの確保については、専門医、特に内科医の採用及び育成をされたい。

当該医療圏での不足医療の把握については、ピカピカリンク（佐賀県診療情報地域連携システム）の導入を検討されており、医療体制構築の意欲が感じられた。

本会の評価結果について真摯に対応し、課題の改善へ努力されている新武雄病院の姿勢は大いに評価するとともに、課題点の改善に期待したい。